

5 褥瘡発生率

※褥瘡（いわゆる床ずれ）は看護ケアの質評価の重要な指標の1つとなっています。褥瘡は患者のQOL（quality of life＝生活の質）の低下をきたすとともに、感染を引き起こすなど治癒が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。そのため、褥瘡予防対策は、提供する医療の重要な項目の1つにとらえられています。より低い値が望ましい。

調査実施日	対象入院延患者数	d 2以上の褥瘡の 新規院内発生患者数	褥瘡発生率
2020年01月	13,439	15	0.11%
2020年02月	12,949	10	0.08%
2020年03月	13,670	14	0.10%
2020年04月	11,903	10	0.08%
2020年05月	11,164	3	0.03%
2020年06月	11,637	5	0.04%
2020年07月	12,057	11	0.09%
2020年08月	13,073	9	0.07%
2020年09月	11,852	6	0.05%
2020年10月	11,869	6	0.05%
2020年11月	12,262	7	0.06%
2020年12月	12,885	7	0.05%
2021年01月	12,660	7	0.06%
2021年02月	11,483	5	0.04%
2021年03月	12,507	8	0.06%
2021年04月	12,678	7	0.06%
2021年05月	12,814	4	0.03%
2021年06月	12,062	13	0.11%
2021年07月	11,693	5	0.04%
2021年08月	12,716	5	0.04%
2021年09月	11,958	6	0.05%
2021年10月	12,216	3	0.02%
2021年11月	12,007	7	0.06%
2021年12月	12,541	10	0.08%

(参考) QI 推進事業参加病院の平均値

2017年度 0.10%(前年比+0.03)

2018年度 0.08%(前年比+0.02)

2019年度 0.08%(前年比±0)